

私たちは、技能に優れた鉄筋工事企業集団として、社会に貢献します。



POWER

Vol.
63

季刊誌パワー

発行所：公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 〒101-0046 千代田区神田多町2丁目9番6号田中ビル4階
TEL 03-5577-5959 FAX 03-3252-9170 〔令和元年12月20日発行〕

WINTER 2019

平成三十二年(令和元年)
秋季定例会(雇用改善推進会議)

令和元年十月二十五日(金)

京王プラザホテル札幌

A. 定例会報告

- 一. 開会の辞 副会長 篠森 義晴
一. 全鉄筋会長挨拶 会長 岩田 正吾
一. 来賓祝辞・挨拶

(1) 各事業委員会報告

- 衆議院議員 自由民主党 中山 泰秀様
- | 委員長 | 副会長 | 副会長 | 副会長 |
|---------------|-------|-------|------------|
| 経営委員会 | 篠森 義晴 | 副会長 | 知念 辰昇 |
| 広報委員会 | 副会長 | 武田 美治 | 専務理事 飯島 勉 |
| 実習生事業委員会 | 副会長 | 飯島 勉 | 専務理事 新妻 尚祐 |
| 教育訓練委員会 | 専務理事 | 飯島 勉 | 専務理事 新妻 尚祐 |
| 技術委員会 | 専務理事 | 飯島 勉 | 専務理事 新妻 尚祐 |
| CCUS企業評価事業委員会 | 専務理事 | 飯島 勉 | 専務理事 新妻 尚祐 |

次の世代に道筋

24日にTETSU1

鉄筋の定例会
全秋季

全国鉄筋工事業協会(岩田正吾会長)は25日、札幌市の京王プラザホテル札幌で秋季定例会(雇用改善推進会議)を開いた。写真。

岩田会長は「11月24日に富士教育訓練センターで第3回全国鉄筋技能大会(TETSU1グランプリ)を開催す



と実行委員会を立ち上げ、年内に顔合わせする予定になっ

る。予選を勝ち抜いてきた選手には腕を振るってもらいたい。全鉄筋としても大々的にPRできるようなことを考えていきたい。次回の大会から後援してもらうべく、厚生労働省にもお願いしている。テレビなどのメディアに取り上げてもらえるよう活発に活動していきたい」と述べた。

また、「一昨年幕張メッセで開催した鉄筋エキスポをRCエキスポとして再来年開催する計画を進めている。建設産業専門団体連合会を主体として、労務職を中心に全国のRCに携わる人たちが下請け目線でRCの博覧会をやろうと実行委員会を立ち上げ、年内に顔合わせする予定になっ

た。経営委員会委員長の篠森義晴副会長はこれまでの「鉄筋は結束が命」に加え、新たに「やる気、負けん気、元気の3気」と提唱した。

このほか、2月の米国視察に触れ、「米国では入りたい職種だが、われわれは入っていかない限り次の世代はない。次の世代のためのサポート、道筋をしっかりとつくるために、協力、尽力していただきたい。職人の処遇改善に向けてともに頑張っていこう」と呼び掛けた。

第1部では各事業委員会からの活動報告、各地区の労務状況の報告が行われた。広報委員会からは委員長の知念辰昇副会長が、4月から会員専用ページを立ち上げ、10月1日から鉄筋に関する「よろず相談窓口」をスタートさせたことを報告、「ホームページに注目してほしい」と要請した。経営委員会委員長の篠森義晴副会長はこれまでの「鉄



B. 講演

「新たな在留資格“特定技能”と、建設分野の外国人材の受入れについて」

- 国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課 労働資材対策室 企画専門官 藤本 真也様
- 一. AIG損保状況報告 副会長 知念 辰昇
- 一. 閉会の辞 副会長 知念 辰昇

- ・労務委員会 常任理事 飛田 良樹
(2)就労人口調査、社会保険加入状況の纏め報告 常任理事 宮本ゆり子

(3)女性活躍推進WG活動報告 常任理事 宮本ゆり子

(4)各地区における受注単価・労務状況等報告 事務局

組合紹介 香川県鉄筋業協同組合

瀬戸内の内久しい海に面し、年間を通して温暖な四国香川県の鉄筋組合のご紹介をいたします。

香川県は、面積が全国で一番小さい県ですが、災害が少なく、コンパクトな中に都市の利便性と豊かな自然が調和した生活環境を併せ持つ特徴を持った場所です。

四国八十八カ所のお遍路行脚では、最終ゴールとなる八十八番札所、願いを結ぶと書いて結願寺大窪寺(けちがんじおおくぼじ)が、香川県にあります。

また、面積が小さい県ではありますが県土のほぼ半分を占める讃岐平野という広い平野に県庁所在地である高松市、瀬戸大橋の袂である坂出市、日本一美しい石垣と言われる丸亀城が鎮座する丸亀市などと言った街が点在し、その間に可愛いお椀型の小さな山が点在する、特徴的な地形であります。県全体の面積は日本一面積の大きい市町村であります岐阜県の高山市よりも狭いですが、人口は高山市の約十一倍、人口密度は約十三倍で、面積に比べて比較的人口の多い県でもあります。

香川県鉄筋業協同組合は、加盟事業所数十二社と小さな組合ではありますが、ご存知さぬきょうどんの様に、コシのある繋がりを持った組合であります。武田理事長をはじめ組合員全員が、しっかりとスクラムを組み、香川県の建設業発展に尽力しており、活動として各職業訓練校での出前講座や職業能力大

学校や四国建専連と連携したイベント参加などを通じて、鉄筋工事の大切さや面白さを広めております。最後に、香川県は「うどんだけじゃない香川県」運動を展開しております。瀬戸内の海の幸はもちろん、源平合戦の舞台でもある屋島・壇ノ浦など多くの観光地がございます。お越しの際は夜間パトロール後の締めうどんまで、しっかりとご案内させて頂きますので、ぜひ一報ください。

令和元年度

第3回 全国鉄筋技能大会 (TETSU-1グランプリ)

優勝は和田氏(富田)、関西代表が連覇



右から優勝した和田氏、準優勝の松本氏、3位の中村氏

全鉄筋 第3回TETSU-1GP

野代表の中村翼氏(マルゼン建鉄)がそれぞれ受賞した。また、参加者全員に参加賞が贈られ、出場選手を代表して選手宣誓した愛知県代表の高橋喜継氏(マツダスタール)が受け取った。

最優秀賞を受賞した和田氏は「会社や仲間の後押しがあったから優勝できた。この半年、優勝目指し自分自身も仲間も時間を削って練習してきた。仲間に迷惑をかけたが、優勝できたので良かった」と安堵の表情を浮かべ、「これからも品質とともに安全作業で頑張っていきたい」と力強く語った。

また、第1回大会で3位の全鉄筋会長賞を南昌宏氏が受賞しており、富田興業の所属の選手は3大会連続での入賞を果たしている。「恵まれた環境でやらせてもらった」ことに感謝した。また、中学卒業後、「先輩の姿を見て、この仕事をやりたい」と思い、親の反対を押し切って鉄筋業界に入職しただけに、「優勝できて、少し恩返しできたのでは」とも。



33選手が日ごろ鍛えた技を競った

日本一の鉄筋工を決める「第3回全国鉄筋技能大会(TETSU-1グランプリ)」が富士教育訓練センターで11月24日に開催されました。全国各地の厳しい予選を勝ち抜いた33名の精鋭達が、日ごろ鍛えた技とスピードを競いました。選手や大会関係者のほか、約600名の方々が応援に駆け付け、今大会も大成功となりました。また、試合の様子はYouTubeライブで同時配信され、会場に来られなかった仲間や家族も応援できるよう運営にも工夫が凝らさ

れていました。大会を内外から盛り上げていただきました皆様、本当にありがとうございます。

通常の1級鉄筋技能士の資格試験よりも、腹筋を加えている他、組立時間も大幅に短縮され、精度も一段と厳しく審査されました。その結果、優勝(国土交通大臣賞)に輝いたのは関西鉄筋工業協会 富田興業の和田浩茂選手、準優勝(国土交通省土地・建設産業局長賞)は北海道鉄筋業協同組合 丹羽鉄筋興業の松本兼一選手、三位(全国鉄筋工事業協会会長賞)

は長野県鉄筋業協会 マルゼン建鉄の中村翼選手がそれぞれ受賞しました。

優勝した和田浩茂選手の在籍する富田興業は、3大会連続入賞。第1回は3位、第2回、第3回は優勝を掴み取っている。和田選手は「優勝できたのは、会社の仲間の後押しがあったから。仲間に多くの迷惑をかけたが、優勝できたのでよかった。これからも当社のブランドである品質にこだわった仕事をしたい。」と語りました。



第29回 (公社) 全国鉄筋工事業協会青年部連絡会議の報告

青年部副部長 松本 勝

日頃は青年部活動へのご理解、ご支援誠にありがとうございます。

また、お忙しいところ、篠森副会長、小寺常務理事、熊谷青年部担当理事にはご出席いただき、重ねてお礼申し上げます。

11月15日に金沢東急ホテルで、第29回(公社)全国鉄筋工事業協会青年部連絡会議が行われ、全国30地区、140名もの青年部会員が集まりました。

今回は2部構成で開催し、第一部で、これからの時代に求められる人事評価制度、第二部で、各社で使える能力評価制度の二部構成で行われました。

第一部では、人事評価の特性について、我々の業界が抱えている人材不足に対して、社員のエンゲージメントをどう高めていくかなど、沢山の情報を頂きました。



第二部では、各社が社員に対してどのような能力を身に付けてほしいのか、どのようなスピードで習得させるのか議論しました。

第一部と第二部の関連性についても、人事評価と能力評価は別物であるという講師の方に説明を受けましたが、そもそもこの業界にはそのような評価基準が無く、漠然とした基準(親方、社長のサジ加減)で、給料を決めてきた事が多く、講義を聞いているが理解不十分だったように思っています。ですが能力評価をこれから始めて行けば、社員は自分の能力を把握し、この先どのようにしてキャリアを積み進めたいのか、キャリアを積み進めたいのか、キャリアを積み進めたいのか、キャリアが得られるのか、明確な目標に向

かつて日々研鑽していく事が期待できます。

その評価を、社員や職人さんが共有する事で、離職が減り、新たな人材の確保が出来る要素と考えています。

また、別物だと説明を受けた人事評価制度も、能力評価のその先に有ると、会議に参加された方達は、感じたのではないのでしょうか。

来年も更なる職人の待遇の向上を目標に、皆さんと知恵を出し合い、この業界が魅力ある産業、誇りある仕事へ変わっていく事に、邁進していきます。

最後に、石川県青年部の皆様をはじめとする、北信越の皆様におかれましては、素晴らしい設営をして頂きまして有難うございました。また当日、色々なサプライズに対応された方、迅速な対応有難うございました。これからも鉄筋業界の発展を御祈念いたしまして、青年部連絡会議の報告とさせていただきます。



建設マスター 優秀施工者土地・建設産業局長顕彰

⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①

齋藤 和行 橋本 和美 佐藤 幸三 新井 斉 井上 道人 倉谷 健一 池原 喜之 鶴岡 靖則 熊谷 達人

有限会社 田村鉄筋工業 株式会社 阿部鋼業 有限会社 佐藤鉄筋工業 有限会社 小椋工業 株式会社 井上興業 吹上鋼材有限会社 合同会社 池之工業 早川鉄鋼販売株式会社 丸正 誠伸興業株式会社

岩手県 神奈川県 宮城県 群馬県 高知県 三重県 沖縄県鉄筋工事業協同組合 東京都 北海道

※飯島教育訓練委員長



ジュニアマスター 青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰



※飯島教育訓練委員長
① 中村 奈々 株式会社 岩田 関西
② 板坂 啓太 武田建設株式会社 香川県
③ 松谷 達也 宮本工業株式会社 山口県
④ 大塚 崇 株式会社 大塚工業 埼玉県

各地区広報活動報告

群馬県鉄筋工業組合

■ものづくりマイスター派遣事業

群馬県内の3校(利根実業高校・吾妻中央高校・勢多農林高校)で、型枠大工さんと鉄筋・型枠講習を全3～4回の工程で、建物のミニチュアを作成。生徒を、鉄筋班と型枠班に分かれて作業を行い、鉄筋班は、建物の柱・壁・梁・スラブの配筋・結束を行いました。実際の現場に近い環境を体験でき、教科書で見ると実物に触るのでは知識の残り方が全然違うとのことでした。



その他、群馬県内3校(前橋工業・高崎工業・藤岡北高校)で、鉄筋実習(結束体験等)を年1回行っております。

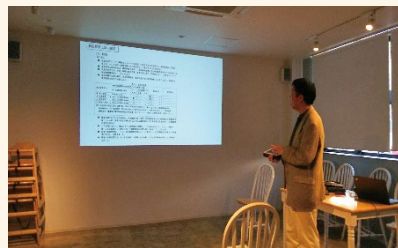
■職業訓練法人渋川職業訓練協会

当組合の前理事長の藤井高幸氏が、現在校長で訓練校の運営を行っており鉄筋コンクリート施工科では、2年間(週2回程度)、鉄筋の学科・実技の指導を受け、訓練を行うことができます。鉄筋の講師は、当組合員が交代で、行っています。



■2019.9.26 GSAS&JSCAとの構造研修会

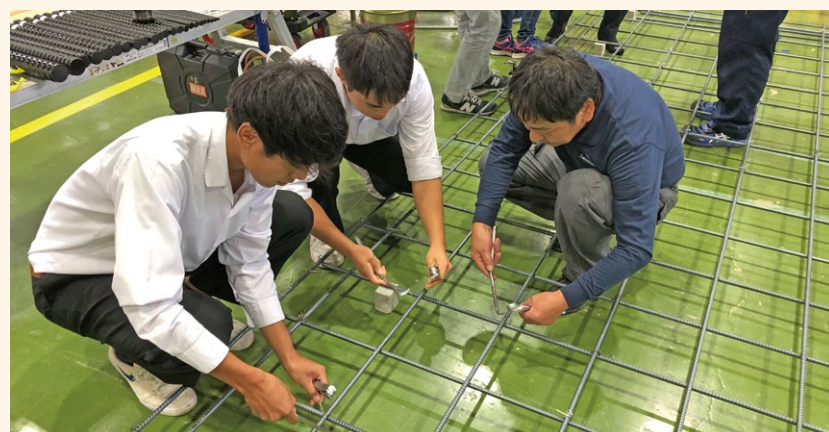
9月26日に、構造設計事務所の先生を講師で、鉄筋の配筋の標準図について、構造研修会を開催しました。構造設計について、鉄筋に関わる部分を説明していただき、現場施工上、参考になりました。



香川県鉄筋業協同組合

■2019年10月19日(土)

四国職業能力開発大学校にて「能開大フェスタ2019」が四国ブロックポリテクビジョン実施運営委員会などの主催で開催されました。



その中で、香川県鉄筋業協同組合として「鉄筋に触れ、鉄筋を知る」をテーマに、体験型ブースを設営しました。鉄筋用スペーサーの使い方を説明したのちに手裏剣の様に投げるゲームや結束体験、D10～D51の鉄筋サンプルを用意して実際に持ってもらい体験や鉄筋製パターでのパターゲームなど、幼児から中高生および当校の学生を中心に200名ほどの方に鉄筋に触れて頂きました。結束体験では、小さな子供から大人までの広い範囲を対象としましたが、多くの参加者が真剣に取り組み、学生に至っては1時間近く結束練習を受けて、最後に仲間同士での結束競争など予想外の反響でした。また、当校の先生方とのつながりも出て、次年以降の出前講座などがこれまで以上にスムーズに進められる地盤作りにもなったと思います。



トピックス

◆秋季定例会では経営委員会をはじめ、それぞれの委員会が推進する新たな情報の紹介がなされました。ここでは、その一部を掲載します。

広報委員会

ホームページに「よろず相談窓口」を開設、特定技能登録支援機関について掲載されました。

全鉄筋ホームページ「よろず相談窓口」
今年度10月1日スタート

全鉄筋ホームページ「特定技能および登録支援機関」
10月3日掲載開始

労務委員会

全国の鉄筋工事業を営む二次下請けの組織化、並びに技術研鑽のためのマッチング支援システムについて、詳しい説明がなされました。

6. 労務委員会スケジュール

具体策	アクションプラン	10月	11月	12月	1月	4月	5月
二次下請組織化	周知活動	→					
	周知確認		→	→			
技術研鑽マッチング支援システム	2次以降の加入			→	→		
	システム開発開始		→	→	→		
	システム運用方法講習				→	→	
	システム構築終了確認					→	→
	システム運用開始					→	→
労務委員会		→					

実習生事業委員会

特定技能在留資格制度の概要等について詳しい説明がなされました。

1. 特定技能在留資格制度概要
今回の報告はここです

2. 登録支援機関 付帯サービス

就労人口調査、社会保険加入状況の纏め報告

就労人口調査は会員企業898社（89％）の回答、社会保険加入状況は会員企業794社（79％）の回答を得られました。就労人口は42,090人、内外国人は6,492人（15％超）に達しており、外国人割合は今後も増える傾向にあります。また、長年にわたる加入促進の結果、公的年金加入率（厚生年金+国民年金）は98.5％に達しています。

教育訓練委員会

第3回全国鉄筋技能大会TETSU-1 GRAND PRIXについて詳しい紹介がなされました。

女性活躍推進WG 活動報告

この度は、会員企業である茨城県の株式会社大平組の女性技能者インタビューについて、詳しい報告がなされました。

女性技能者インタビュー

- 育児休業後は現場に復活したいか？
・現場で働きたい。
- この仕事が好きなのか、この会社になりたいのか？
・「大平組」この会社です。
- 今後の目標
・鉄筋1級技能士試験の最優秀賞を狙いたい。
・得意からすべて指示指導できる人になりたい。
・これから建設業に活躍する女性へのメッセージ
自分も職長で同業者や他職から、「えっ！今日この職長女かよ」と思われたりした。認めてもらうまでに時間はかかるが、仲間はカバリーやフォローをしてくれて心配ない。職人の数が少なくなっている中で、私たち女性でも活躍できることを伝えたい。

技術委員会・CCUS企業評価事業委員会

鉄筋技能者能力評価基準【レベル1～4の基準の一覧】
CCUS鉄筋技能者能力評価基準などについて、詳しい説明がなされました。

各委員会は、大きく変わりゆく建設業界に立ち遅れることなく、専門工事業界を牽引する気持ちで改革にあたっております。会員企業の皆様には情報発信をしっかりとご確認の上、有益にご活用いただきたいと存じます。

「粗鋼の動向と鉄筋工の担い手確保」

広報委員会委員長 知念 辰昇

経済産業省、日本鉄鋼連盟、鉄鋼商社によれば、世界の鉄鋼蓄積量は大幅に324億トン、内中国が86億トン、日本が14億トン。また、2018年の年間粗鋼生産量は世界で19億トン、内中国が9.3億トン、日本が1億トンです。その内の電炉粗鋼生産量は世界で5億トン、中国が1億トン、日本が2億600万トン。そして、その日本の棒鋼生産量は810万トン、関東では300万トンであり、日本では棒鋼生産量が毎年3〜4%減産しているそうです。

なぜならば、鉄筋工減少による建築物のS造化、人口減少による物件減とのこと。

棒鋼製品単価も年々下降気味でありますが、年間推移では年度初めから上昇し、秋口には下降するのが通例です。労務の方も毎年のことながら、躯体工事は年度初めから真夏に掛けて繁忙期になり、秋口から閑散期になる、仕上げ工事は逆に秋口から繁忙期になります。

その繁閑の山谷を平らにするには、国の公共工事の完工時期を年度末の3月に偏らず、6月、9月、12月などに分散し、それを民間にも行政指導していただくことが平準化を図る唯一の方策かと思えます。

職人手間も真夏の暑いときには忙しく高賃金、冬の暇なときには低賃金の傾向があり、そのようでは若い担い手の確保はできません。

鉄筋工だけでなく型枠大工をはじめ躯体工事、建設業全体にいえるかと思えます。

雇用改善、働き方改革の一環として、引き続き、建設業の工事平準化を上申して参ります。

編集後記

安全に筋を通す
職人がいます！

私たち関西の組合は10月に「建設技術展2019近畿」に出展しました。鉄筋工事の役割や重要性、ものづくりの楽しさを広く一般の人たちにも知ってもらうことを目指してスタートした同展への出展も11年連続となりました。これまでと同様に実際の建築現場で組み上げられている鉄筋をリアルサイズで展示するともに、今回は職人を束ねるリーダーの職長にスポットを当て、工事の計画から完成までの職長の役割について紹介。また、鉄筋工事と関連の深い型枠や圧接ともコラボレーションし、その仕組みや役割が一般の人たちにも分かりやすい内容としました。そのほか、プロの職人が指導する結束体験コーナーなども設けました。同展には二日間の開催で延べ1万5000人が来場し、私たちのブースも多くの人で賑わい好評を博し関係者からは高い評価の声をいただきました。

田浦 真一

編集委員
委員長 知念 辰昇（鉄工協）
副委員長 宮本ゆり子（山口）
木浪 裕子（北海道）
工藤 桂一（神奈川）
田浦 真一（関西）
兼澤 伸至（広島）
松本 勝（静岡）

編集後記

安全に筋を通す
職人がいます！

私たち関西の組合は10月に「建設技術展2019近畿」に出展しました。鉄筋工事の役割や重要性、ものづくりの楽しさを広く一般の人たちにも知ってもらうことを目指してスタートした同展への出展も11年連続となりました。これまでと同様に実際の建築現場で組み上げられている鉄筋をリアルサイズで展示するともに、今回は職人を束ねるリーダーの職長にスポットを当て、工事の計画から完成までの職長の役割について紹介。また、鉄筋工事と関連の深い型枠や圧接ともコラボレーションし、その仕組みや役割が一般の人たちにも分かりやすい内容としました。そのほか、プロの職人が指導する結束体験コーナーなども設けました。同展には二日間の開催で延べ1万5000人が来場し、私たちのブースも多くの人で賑わい好評を博し関係者からは高い評価の声をいただきました。

田浦 真一

編集委員
委員長 知念 辰昇（鉄工協）
副委員長 宮本ゆり子（山口）
木浪 裕子（北海道）
工藤 桂一（神奈川）
田浦 真一（関西）
兼澤 伸至（広島）
松本 勝（静岡）